

## ＜古代数学史年表＞

年代	数学史	一般史
BC600	<p>ターレス(BC624～BC542 頃) (ミレトス) (三角形の相似を用いてピラミッドの高さを測る、初等幾何)</p> <p>ピタゴラス学派(BC580～BC500 頃) (サモス⇒クロトン) (三平方の定理、黄金比、正多面体、無理数の発見、天文学他)</p>	
BC500	<p>ゼノン(BC450 頃) 運動の逆理 (エレア) (空間と時間の無限分割から起こる矛盾)</p> <p>デモクリストス(BC460～BC370) (アブデラ) (原子論、錐の体積を無限小的方法で求める)</p>	<p>ソクラテス (BC470～BC399)</p> <p>プラトン (BC427～BC347)</p>
BC400	<p>エウドクソス(BC408～BC355) (クニドス) (比例論 (分数の原理)、取り尽くし法、天文学)</p>	<p>アリストテレス (BC384～322)</p> <p>アレクサンダー大王 (BC323 没)</p>
BC300	<p>ユークリッド(BC300 頃) 原論 (アレクサンドリア) (幾何学を公理・公準から厳密に証明した最初の教科書)</p> <p>アルキメデス(BC285～BC212) (シラクサ) (てこの原理、浮力の原理、面積・体積の計算法、円周率 3.14)</p> <p>エラトステネス(BC276～BC194) (アレクサンドリア) (地球の半径を測る、素数のふるい分け)</p> <p>アポロニオス(BC270～BC190) (ペルガ⇒アレクサンドリア) (円錐曲線論、円周率 3.1416)</p>	<p>アリスタルコス 天文学 (BC310～BC230) (サモス) (太陽・地球・月の距離を測る、地動説)</p>
BC200	<p>ヒッパルコス(BC180～BC125) (ニカイア) (三角法の表を作る、星図作成)</p> <p>プトレマイオス(BC127～BC151 頃) (アレクサンドリア) (円を 360 度に分割、三角関数の加法定理)</p>	